

2021年度 発達支援つむぎ 池尻ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.83	日々の清掃を怠らず、整理整頓に心がけ、お子さまの安全に配慮された環境であるように努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.67	日々の活動内容やお子さまの状況を見ながら、今後も適正に配置できるように努めてまいります。また、専門性につきましては、ルーム内研修の充実を図ったり、法人内や外部での研修に参加しやすい環境づくりを目指します。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.50	引き続き、メリハリのある働き方を大切にし、十分な休憩や休暇が取りやすい体制を作っております。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.33	全職員が業務改善の為にPDCAサイクルに参加できるよう、定期的なチェックができる仕組みづくりに努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.00	アンケートでいただいたご意見は全員で共有し、その対策を考え、全員で実行しながら業務改善に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.17	アンケートの結果は、ルーム内の掲示板及びホームページに掲載しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.50	第三者評価は実施しませんが、世田谷区による実地指導があり、指摘事項につきましては、共有して業務改善に繋げております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.67	不定期ではありますが、ルーム内勉強会や研修会を行っております。また、法人内のスキルアップ講座や課ごとの勉強会に参加しております。引き続き、職員の資質やスキル向上を目指してまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.00	共通のアセスメントシートにてお子さまの様子を見立てております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.17	引き続き、丁寧なモニタリングと策定会議を経て、お子さまの課題や保護者様のニーズを的確に捉えた支援計画づくりに尽力いたします。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.00	プログラムを立てる前には常に支援計画に目を通すことを心がけております。同時に、プログラムは手段であり、何をやっていても常に目標が意識できるよう努めております。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.00	その時々のお子さまの興味関心や発達を的確に捉えて活動を決めるよう、心がけています。関りが固定化しないよう、互いに相談しあえる環境づくりに努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.00	引き続き、打ち合わせのための時間がしっかり取れるよう、一日の流れの中に時間を確保してまいります。また、早めに準備ができ、余裕を持って活動開始ができるよう努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.17	打ち合わせ同様に、一日の流れの中に振り返りの時間を確保し、共有できるよう努めます。その日のうちに振り返りができなかった際には、近日中にその時間が取れるよう心がけています。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.33	自分の指導の記録としてだけでなく、誰が見ても分かる記録作りに努めてまいります。策定会議やケース検討での検証に繋がられるような記録を心がけています。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができているか。	4.17	6か月に1度の定期的なモニタリングと策定会議を実施し、支援計画の見直しをしております。常に期日を意識し、適正期間内の提示を心がけております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.83	支援や活動に偏りがないよう、お子さまの発達をしっかりと見極めながら、多角的なアプローチに努めております。コロナ禍で地域交流の機会は減っていますが、計画はありますので、順次実施していければと思っております。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		支援計画を利用しながらプログラムを立てて実施し、記録で振り返りながら次のプログラムを立てるといふPDCAが成り立っているのご意見をいただきました。引き続き、継続的な見立てと支援を心がけていきます。
	保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.00
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.67	「関係機関連携」の制度を利用して、所属の園に訪問させていただき、連携に努めております。連携が必要であると思えばつむぎからご提案させていただくこともありますが、保護者様からのご要望も承っております。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	2.67	必要と判断された場合には、担当者連携会議を持ち、情報の共有を行っております。今後はつむぎから連携をご提案するような機会も設けていければと思っております。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	2.50	情報提供を求められれば、保護者の方の同意のもと共有いたします。また、放課後等デイサービスに関わらず、就学に向けて必要な情報は「就学支援シート」という形で共有させていただきます。

保護者との関係機関や連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.67	世田谷区の基礎研修などに参加しております。今後も広く研修の案内をしながら、学びの機会を提供できるよう心がけてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.33	コロナ禍で開催が少なくはなっていますが、オンラインにて参加しております。今後も地域との連携に努め、地域に根付いた拠点づくりに励んでまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	2.33	コロナ禍で、イベントの実施などは難しいですが、利用児と利用児のきょうだい分け隔てなく関わられる機会を大切にしております。指導後のキッズスペースでの関りも貴重な経験と思っております。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.83	イベント開催は厳しい状況ですが、地域の方がカフェに立ち寄ってくださっています。また、緑道での活動が定着しつつあり、地域の方に広く知っていただく機会となっていると感じております。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.33	「ペアレント・プログラム」は実施しておりませんが、保護者様との対話を大切にしております。お子さまへの接し方や、対応の仕方について個別にご相談に乗りながら、保護者様の不安や困りごとに寄り添っております。今後は広く皆さまとの対話の時間が持てるよう尽力いたします。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.83	保護者様に不安がないよう、丁寧な対応を心がけております。また、不安や疑問点がある際には、気軽にお声がけいただき、解決に努めていく所存です。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.50	引き続き、支援以外の時間も使いながら、保護者様の思いに寄り添えるよう努めてまいります。また、保護者支援についての学びも深めてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.67	カフェの改装により、保護者様が自然と繋がる場所の提供ができるようになったと感じています。コロナ禍でイベントなどの開催ができていませんでしたが、今後状況を見ながら保護者会などの開催を企画していこうと思っております。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.00	小さなご意見も見逃さず、情報を共有しながら、迅速な対応ができるよう努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.00	カフェスペースのホワイトボードにはつむぎでのイベントに留まらず、近隣地域のイベントなども掲示しております。ぜひご覧ください。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.00	引き続き、丁寧な説明を心がけ、保護者様のご相談や疑問にお答えできるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	3.17	引き続き、個人情報の取り扱いには、最新の注意を払い、事務所の施錠などにも気を付けてまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.83	朝礼、夕礼での共有のほか、連絡ノート、電話メモなどを活用して共有しております。今後も速やかな共有が行われるよう、風通しのいいルームを目指してまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.33	有事に備え、引き続き研修を行うなどして、対応できる力を身につけてまいります。
非常時の対応について	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3.50	月に1度の避難訓練を実施しております。併せて、不審者侵入対応訓練や通報訓練などを行い、非常時に対応できる力をつけてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.00	年に一度の研修を行っております。引き続き、自分の言動を振り返る機会を設けたり、職員同士でチェックしあえるような環境を作り、虐待防止に努めます。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.33	毎日の夕礼で、その日のヒヤリハットを検証しています。引き続き事故防止のために多くの事例と向き合い、対策を考えてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	3.50	お子さまが、意欲的にやりたいことを選んでやれている環境を目指しています。つむぎに来ることを楽しみにできるような活動を用意し、職員も共に楽しめるよう努めます。
満足度について	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.17	引き続き、お子さまや保護者様に寄り添った支援ができるよう努め、共にお子さまの成長や変化を見守れるよう努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		